

The American Frugal Housewife に於ける家事仕事の意義

西 田 梨 紗

本発表では、チャイルド (Lydia Maria Child, 1802-1880) の *The American Frugal Housewife* (1829、以下 *Frugal* とする) を取り上げ、この作品のなかで家事がどのように捉えられているかを検討した。*Frugal* には日常生活で簡単に取り入れられる節約方法や安価な食材を使う料理のレシピが記されており、当時の主婦にとって有益な情報が含まれた一般的な家事の指南書であるようにも見えるが、チャイルドは反奴隷制運動に尽力し、社会全般に関心を向けて、白人女性とインディアンの男性が結婚するフィクション *Hobomok* (1824) を執筆したことを前提とすると *Frugal* にも、当時としては新しい女性のエンパワーメントのための指針が含まれていたことが予想できる。

19 世紀半ばのアメリカで理想とされていた女性像は良き妻、良き母の姿である。男性が外で経済生産に携わるように求められた一方、女性には家の管理が求められた。当時のコンダクト・ブックには良き妻、良き母となるための美德を教授しようという目的があり、同様の意図が *Frugal* から読み取れる。しかし、*Frugal* に挿入されている女性 (an old woman) の挿話 (Child, *Frugal* 106-108)、貧困とどん底から立ち直ったあとで社会貢献に励んだミセス (Mrs.) の挿話 (Child, *Frugal* 111-112)、ならびに最終章 “How to Endure Poverty” に差し込まれているミセスの挿話 (Child, *Frugal* 111-112) から、家事は女性が社会で独立して生きていくために必要な術となり、女性たち自らの幸福につながるものとされていることが明らかになる。

高等教育を受けたいと幼い頃から強く望んでいたチャイルドにとって、ジェンダー・ロールが明確で、女性の領域は家庭とされていた社会は不満も多かったが、チャイルドは夫に代わって家計を支えなければならず、その経験は、同時代に生きる女性たちを啓発するテーマをチャイルドに与えた。女性に潜在する力に期待を寄せるチャイルドの眼差しは、*Frugal* の後に出版された *Little Girl's Own Book* (1847) にもよく表れている。この作品の序文に

は、娘をもつ両親に宛てて、“In this land of precarious fortunes, every girl should learn how to be useful” (Child, *Little v*) と記されている。この記述は *Frugal* における女子教育に関する記述と重なり合う。チャイルドは *Little Girl's Own Book* でも、女子が不安定な社会を生き抜く力をもつことを願い、生活に必要な実用的術を身に着けるように勧めている。こうした思いから執筆されたこの作品は、生活に必要な実用的術を身に着ける方法が大部分を占めている。フランス語をゲーム感覚で身に着けるクライズ・オブ・パリス (Child, *Little* 9-13) のフランス語での遊び。身近な素材を用いたバスケットの作り方 (Child, *Little* 104-117) などが記されている。加えて、幼い頃に人形の洋服を裁縫した経験が、将来的に自分自身のドレスを縫い繕うことにもつながる (Child, *Little* 70-71) と述べられているように、将来に役立つことを第一とする記述が多い。

チャイルドが展開していくテーマは *Frugal* で女性に家事の方法を身につけるように述べた意図にも読み取れることを本発表では分析した。家事能力を高めることは女性自身の幸福と自立にもかかわるものであるとわかる。チャイルドは女子が教育を受ける目的を家族のためではなく、彼女たち自身の身を助けるものと見做していたといえる。女子が教育によって身につけた力は、いざという時に自らの身を守るための術となり、女たちが幸福に生きるために役立つとチャイルドは考えている。

チャイルドが *Frugal* で意図したのは、限られた収入で家の管理を行わなければいけない主婦たちに節約方法を教え説くことでもあり、それと矛盾することなく、女性自身の幸福や自立への指針を掲げることにもある。このように考えるとセルフメイドマンやセルフリライアンスが謳われるアメリカの土壌から生まれた作品であるといえる。

● Works Cited

- Child, Lydia Maria Francis. *The American Frugal Housewife: Dedicated to Those who are Not Ashamed of Economy*. New York: Samuel S. & William Wood, 1841.
- . *The Little Girl's Own Book*. Rdinburgh: R. Martin, 1847.